

2022年12月28日

各 位

会 社 名	株式会社レッド・プラネット・ジャパン
代 表 者 名	代表取締役社長 サイモン・グロヴィッチ (スタンダード コード：3350)
問 合 せ 先	取 締 役 C F O 王 生 貴 久
電 話 番 号	050-5835-0966

新規事業（Web 3 及びメタバース関連事業）の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、既存のホテル事業を刷新するとともに、新たに Web 3 及びメタバース関連事業を開始することを決定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。なお 2022 年 9 月 27 日付で開示しております「子会社の設立に関するお知らせ」（以下「子会社設立プレスリリース」といいます。）をあわせてご参照ください。

1. 事業開始の趣旨

当社は、現在における国内外の経済情勢全般、当社の主力事業であるホテルの開発及び運営が必要とする資金の多さ、そして世界で新たな事業機会を生み出している技術革新の速度やその広がり具合を各方面から検討し、現在の当社が置かれている事業環境を分析いたしました。その結果当社は、今後の株主価値の継続的かつ発展的な創出のためには、急速に進化する技術を取り入れて当社の保有資産及びビジネスモデルをデジタル化するとともに、新たな事業機会に挑戦することが必要であると判断しました。

各国の企業は多くの事業分野において消費者行動の変化を急速に受け入れています。これは特に Web 3 の技術及びデジタル商品の採用の増加において顕著です。当社はかかる Web 3 移行の世界的潮流をとらえたいと考えています。

Web 3 は第三世代のインターネット技術を意味し、デバイス及びユーザー間のより洗練され進化しやり取りを可能にします。インターネットの分野は次の段階に向けて急速に進化しており、社会がどのように機能するかに大きな影響を与えています。インターネットは受動的な情報伝達手段から現在私たちが知っているような参加型の経験に進化しました。文書ベースのウェブは相互作用可能かつダイナミックな社会活動領域となり、ユーザーは文書、人々及びデータをつなぎ合わせるできます。

Web 3 は様々なユーザー及びデータシステムが相互に交信し「スマートコントラクト」により情報の交換及び金融取引を実行することを可能とします。スマートコントラクトとは受け取ったデータを保管のうえ条件が満たされたときに自動的に契約で定められた取引を実行するコンピュータープログラムであり、金融取引及び一般的な情報交換の双方に利用することができます。スマートコントラクトは人々とウェブサイトとの間だけではなくソ

ソフトウェアとソフトウェアとの間のやり取りにおいても使用可能です。Web 2 が人々にインターネットにおいて読み書きすることを可能にしたのに加えて、Web 3 はデジタル資産の所有やインターネット及び現実社会にまたがる特別な参加権の付与を可能とします。現在消費者が音楽をオンラインでストリーム再生したりログインしたシステムから受信する際には、対象となる音楽ファイルは消費者がログインしたシステムに属します。Web 3 はブロックチェーン技術に基づくいわゆる分散型コンピューティングを可能とし、ユーザーは直接データを所有することができます。このようなインターネットの進化はほとんど全ての業界に影響するものと考えられ、例えば最も先行しているゲーム業界においては、メタバース、拡張現実 (Augmented Reality) 及び AI (Artificial Intelligence) の開発が行われています。Web 3 により現実世界と仮想空間との間のやり取りが加速していくのです。

Web 3 はまた暗号通貨、トークン及び分散型ウォレット (インターネット上にのみ存在し、ブロックチェーンに基づく通貨の保有の証明並びにかかる通貨の他人への送付及び他人からの受領のために使われる「デジタル財布」) を使用する、国家及び銀行から独立した代替的な支払方法を含みます。これにより金融取引はより簡単、高速、安価及び安全になったと言われております。

さらに、NFT (Non-Fungible Token) 分野の進歩及び AI、IOT (Internet Of Things)、P2E (Play-to-Earn) ゲーム、拡張現実及びウェアラブル端末 (物質 (Physical) 及びデジタル (Digital) 双方の要素をもつことから、「phygital」製品と呼ばれることがあります。) は全て Web 3 に関連し、インターネットに基づくやり取りの未来を形作ります。世界中の大企業もこれらの技術に注目しています。

当社のホテル事業が 1 棟という限られた販売客室数で運営されており、新たなホテル事業の拡大には多額の資金を要することに鑑みると、当社はホテル事業を現状のまま継続することは当社の株主の皆さまを含むステークホルダーの利益とならないものと判断いたしました。他方において、接客及び不動産開発の経験、新たに採用した人材並びに当社経営陣が持つネットワークからすれば、当社は Web 3 及びメタバース事業への参入を実現できると考えています。このため当社は現在の事業を刷新するとともに新規事業を立ち上げることにより、革新的な技術並びにオンライン空間及び現実空間のコミュニティーを形成し参加する能力を利用し、急速に変革していくデジタル経済におけるよりよいビジネスモデルを作り出します。

消費者は新たな商品及びサービスを求め続け、事業者は新たな事業の収入源及び付加価値を模索し続けていますが、このような経済環境において Web 3 及びメタバース関連の商品及びサービスは双方をつなぐことにより進化しています。当社は、経験豊富なチームを増強し、グローバル市場において実証されたデジタル技術及びビジネスモデルを日本市場に導入してまいります。また、NFT 市場のような Web 3 のためのビジネスモデルを可能とするプラットフォームや手段といった技術インフラ開発に資金を投入することにより、日本における Web 3 及びメタバース関連の商品及びサービスの発展を牽引する主導的な地位を

築くことを目指します。

かかる目的のために当社は以下の3つの事業に注力します。

- a. Web 3 及びメタバースの製品及びサービスの提供による成長を目指す事業(以下「コア事業」といいます。)

Web 3 及びメタバースの製品及びサービスの提供による成長を目指す事業です。具体的には、五反田のホテルを不動産開発の経験及び NFT 関連事業を活かしてメタバースの拠点・会員クラブに再構築し、従来のホテル事業の資産から価値を創造するプロジェクトである「WEN Tokyo」、日本の芸術家及び職人が日本のアートと結びついた NFT を作成し NFT の取引及び各種イベントを通じて職人氣質に基づくコミュニティを創設する「Takumi-X」、並びに容易に NFT を作成及び取引することができるプラットフォームの開発・運営を予定しています。WEN Tokyo、Takumi-X 及び NFT 取引プラットフォームにつき現在予定している事業内容は以下のとおりです。

- WEN Tokyo

当社は、既存の五反田所在のホテルを未来志向及び技術重視のメタバースのビジネス拠点、会員クラブ及びホテルである WEN Tokyo に刷新します。WEN Tokyo は東京において成功を収めている六本木ヒルズクラブやアメリカンクラブといった会員クラブのビジネスモデルを踏襲しつつ、利用のために定期的な会費の支払に代えて原則として譲渡可能なユーティリティ NFT (保有者に対しイベントへの参加権や物品の早期購入を可能とするといった特別な参加権、権利または特典を付与する NFT) を購入する点に特徴があります。またこれらの既存クラブは基本的に娯楽施設ですが、WEN Tokyo は Web 3 及びメタバースに基づく体験を提供する点も特徴です。WEN Tokyo の開発資金は立ち上げ段階では当社が負担しますが、ユーティリティ NFT の販売収入により Web 3 及びメタバース関連の設備及び活動をより充実させていきます。「メタバース拠点」である WEN Tokyo は飲食コーナー、ラウンジ、展示施設、コワーキングスペース及びデジタルコンテンツを作成しメタバース機能を体感するための VR や AR といった施設を備えた完全装備の「インタラクティブ・ルーム」などから成ります。当社は WEN Tokyo を Web 3 及びメタバースに基づく今後の事業の出発点とします。当社は建造物のデザイン、再開発、宣伝、新しいメタバースの事業モデル及び宣伝に投資することにより、当社の保有する五反田のホテルを国内及び海外からの訪問客の新たな行先として完全に生まれ変わらせます。WEN Tokyo 事業の運営主体は、子会社設立プレスリリースにて設立をお知らせした当社連結子会社であるウェン東京合同会社となる予定ですが、WEN Tokyo 事業の事業地である当社運営の五反田のホテルは、東京スター銀行からの借入のために担保提供されており、同借入が返済されるまではホテル

取得時に組成した信託スキームの受託者である三菱 UFJ 信託銀行株式会社が所有しております。なお同じく子会社設立プレスリリースにて設立をお知らせした株式会社メタプラネットは商号確保のために設立したものであり現時点において事業を行っておりません。同社については、本日付で開示しております「第三者割当による新株式及び第9回新株予約権の発行、募集新株予約権(有償ストック・オプション)の発行、商号の変更、定款の一部変更並びに親会社及び主要株主の異動に関するお知らせ」及び「臨時株主総会開催日及び付議議案決定に関するお知らせ」にてお知らせしている、2023年2月7日に開催予定である臨時株主総会(以下「本臨時株主総会」といいます。)において当社の商号の株式会社メタプラネットへの変更が承認された後に解散する予定ですが、詳細が決定次第速やかにお知らせします。

- Takumi-X

日本の芸術家、クリエイター及び建築家が NFT を作成し世界に向けた販売することを目指すプロジェクトです。

- NFT 取引プラットフォーム

顧客が簡単に NFT を作成し、購入し、保管し、他の顧客に売却することのできる取引環境を開発します。当社の提供する取引環境は、国内の顧客がこの新たに発展している市場において取引することを可能とするシンプルかつ安全なインターフェースを特徴とします。

b. Web 3 及びメタバースにかかるプロジェクト向けの助言及びコンサルティング(以下「コンサルティング事業」といいます。)

Web 3 及びメタバースにおける事業の拡大を望む事業者並びに海外の企業及び起業家の日本進出(または日本の企業及び起業家の海外進出)向けのコンサルティング及び事業化支援ビジネスです。ブロックチェーン及び非中央集権的技術に不慣れた海外及び日本の企業にとって、Web 3 に関する事業戦略を作成することは困難が伴います。同時に、Web 3 の有効な解決策をもつ海外企業による日本市場への参入は困難を伴うことがあります。当社は①企業の Web 2 から Web 3 への移行、並びに②海外企業による Web 3 事業の日本導入及び日本企業による海外 Web 3 事業進出、を支援する専門家集団によるコンサルティングを提供します。かかる専門家集団は事業開発、営業及び企画チームから成り、企業の Web 2 から Web 3 への移行を支援するとともに、海外進出を目指す日本企業及び日本進出を目指す海外企業の架け橋となります。基礎的な戦略のコンサルティング及び日企業向け商品を開発のうえ潜在的な顧客に対する販売を目指します。なお現時点において販売網はありませんが、販売網整備に向けて顧客候補との協議を開始しております。

c. Web 3 及びメタバースにかかるプロジェクト、企業及びデジタル資産への投資(以下「投資事業」といいます。)

定期的な収益またはキャピタルゲインの可能性をもたらす有望な Web 3 及びメタバースにかかる企業及びプロジェクト並びにデジタル資産（NFT、トークン及び日本において取引可能な暗号通貨を含みます。）に投資します。多くの場合、当社は資金に加えて、当社のリソース及び経験を提供します。当社の親会社である EVOFUND 及びグループ会社（以下「EVO グループ」といいます。）のネットワークにより、当社は日本及び海外における有望な企業への投資機会を知り得る立場にあります。なおこれらはベンチャーキャピタル型の初期ステージの投資であるため短期的な収益化は見込んでおりません。ベンチャー・キャピタル及びプライベート・エクイティ市場を通じて、Web 3、メタバース及びブロックチェーン技術における成長可能性をもつスタートアップ企業及び成熟企業に関わるデジタル資産に投資します。

これら3つの事業により、当社はグローバル Web 3 市場における最良の製品及びサービスを日本市場に提供することに注力することができます。当社はブロックチェーン及び Web 3 技術を利用した製品及びサービスの導入及び開発により日本の企業及び消費者の需要に応えるとともに、海外の Web 3 及びメタバース事業者の日本市場参入を支援します。

2. 事業開始の背景

当社は中核事業であるホテル事業の再編の過程で最も不動産価値のある東京都品川区西五反田のホテルを残して、残りのホテルを閉業またはリース解約しました。五反田のホテルは当社の新たな事業に適合するよう刷新してまいります。なお、五反田ホテルについては前記「1. 事業開始の趣旨」に記載のとおり WEN Tokyo に改装後もホテル設備は残すため、ホテル事業は継続いたします。ただし新たなホテルを運営するなど当該縮小後の五反田における事業を超えてホテル事業を拡大する予定はありません。

当社は今後の全ての事業に Web 3 のアプローチを採用するという新たな方針のもと、利用可能な最高の技術を利用して事業を再構築します。そのためにまず、前述の当社の現有資産を刷新いたします。当社は、日本と似た顧客特性を持つ海外市場（米国、欧州及びアジアの一部）において成功している Web 3 及びメタバースのビジネスモデルの日本への導入を橋渡しします。その際、具体的な機能または製品と結びつかない仮想通貨のような、価値が低く投機的なコンセプトではなく、具体的な製品及びサービスを提供するビジネスモデルに集中します。かかる新たなビジネスモデルを実行するために、当社はデジタル資産の取引、Web 3 及びメタバースにかかるプロジェクトの開発及び実行、Web 3 及びメタバース事業を行う企業に対する戦略的投資につき豊富な経験を有する人材（前職等においてメタバース事業の経験を有するニュージーランド人、アメリカ人、オーストラリア人及びイタリア人の4名を含みます。）を経営陣及びアドバイザーとして採用いたしました。かかる新規人材はまた Web 3 にかかる技術、ゲーム化及び開発に国際的な経験を有しています。また EVO グループは、事業を買収した上で必要資金を投入し投資先企業の事業を転換または強化

する豊富な経験を有しています。かかる EVO グループの支援及び新たな人材により、当社経営陣は今後 Web 3 分野において国境を越えた協業及び共同事業を実行できるものと考えており、実際アート、サービス提供及びゲーム化において実績を有する事業者との戦略的なパートナーシップに向けた交渉をしています。かかるパートナーシップの形成に向けた議論は進行中であり、最終的な拘束力を有する契約書が締結され次第公表いたします。

当社はまた消費者向けの製品及びサービスを開発することを目的とする国内外の企業及びブランド向け助言・コンサルティングサービスを提供することを目指します。

さらに当社は Web 3 及びメタバース分野において先駆的な能力を示し急速に成長している第三者の事業及びプロジェクト、並びに厳選したデジタル資産に対して自己資金による投資を行います。

3. 事業の概要

(1) 事業内容

- a. コア事業：既存のホテル資産を、ブロックチェーン技術に基づく製品及びサービスの開発、売買及び支援のポータルサイトへ刷新し運営する事業（前述のとおり当社はかかるプロジェクトを「WEN Tokyo」と名付けました。）、並びに Web 3・メタバースに関連する社内プロジェクト及び事業の開発。なお、これには当社が開発するデジタル商品の売買を可能とするプラットフォームの運営を含みます。
- b. コンサルティング事業：国内外の企業及びブランド向けの Web 3 及びメタバース関連のプロジェクトにかかる助言・コンサルティング業務。
- c. 投資事業：国内外の Web 3 及びメタバース関連の企業、プロジェクト及びデジタル資産への投資。

(2) 当該事業を担当する部門

CEO、COO 及び担当責任者から成る経営チームを、コア事業を所管する「将来事業部門」、コンサルティング事業を所管する「革新事業部門」及び投資事業を所管する「投資部門」に編成します。

(3) 新規事業開始予定日

2023 年 2 月 7 日。ただし、本臨時株主総会における当社定款における事業目的の追加を承認する株主の承認を条件とします。なお、「上記 2. 事業開始の背景」に記載のとおり、当社は必要な知見を有する専門家を採用のうえ事業開始に向けた準備を開始していません。

(4) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

コア事業：WEN Tokyo 及び社内事業開発資金	330 百万円
コンサルティング事業	190 百万円
投資事業：投資資金	770 百万円
合計	1,290 百万円（注）

(注) この合計 1,290 百万円に関しては、本日付で開示しております「第三者割当による新株式及び第 9 回新株予約権の発行、募集新株予約権 (有償ストック・オプション) の発行、商号の変更、定款の一部変更並びに親会社及び主要株主の異動に関するお知らせ」において 2025 年 12 月までの調達する資金の具体的な使途として含まれております。

4. 今後の予定

当社の新たな方向性は実証済みの技術を利用し、主要な経済圏において広汎な採用が進んでおり急速に発展している隙間事業分野に集中するものです。グローバル企業は多くがすでに Web 3 戦略を開始しているか、Web 3 及びメタバースが今後数年間において注力すべき分野であることを表明しています。大きな消費者市場を有する日本は、有望な Web 3 戦略が存在する海外市場と異なることはありません。当社は、独自のプロジェクトを立ち上げるとともに日本市場向けの日本語によるパートナーシップ及び取組みを通じて日本の Web 3 及びメタバースへの移行を加速することを目指します。

当社はまた投資資金を社内プロジェクト及び外部企業に投じることにより、Web 3 及びメタバース領域における経験値を蓄積するとともに、当社が日本における Web 3 及びメタバースの先行的なプレーヤーの地位を築くことを目指します。さらに、当社の経験及びノウハウを助言及びコンサルティングの場面に利用することにより、企業が Web 2 に基づく事業を Web 3 のコンセプトに基づくものに転換する手助けをすることができるものと考えています。

このように、当社は上記 3 事業を平行して展開していく予定ですが、各事業は相互に補完的であり、事業間における一定の協業さらには異なる事業におけるプロジェクトの統合が起きる可能性があると考えています。新規事業の立上げにあたり、当社は以下のプロジェクトに優先して取り組みます。

- (1) WEN Tokyo (コア事業) : NFT 保有者が来場し現実世界及びメタバースにおける経験を楽しむことができるメタバースに特化した東京所在のホテル及び会員制クラブ
- (2) 助言事業 (コンサルティング事業) : 当社は日本において Web 3 事業を開始することを検討している有名消費者向けブランド数社と議論しています。同時に当社は、Web 3 サービス及びコンサルティングを用いて海外企業向けの日本市場への参入戦略を検討しています。
- (3) NFT 市場 (コア事業) : 当社は、経験豊富な技術パートナーとともに日本の消費者間における NFT の簡便な取引を促進するプラットフォームを創出するために設計及び協業を行っています。

5. 今後の見通し

間もなく終了する本事業年度中は、新規事業開始に向けた準備活動しか行わないため、本件の当期の当社連結業績予想への影響は軽微です。翌期以降においては、当社は本事業転換は当社の企業価値を大きく向上させるものと考えておりますが、業績への具体的な影響額

については検討中です。今後、開示すべき事態が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以 上